



# ITbM/IGER/RCMS セミナー



## 2013.2.8 Fri 13:00~16:00

### 野依記念物質科学研究館 2階講演室

#### プログラム

13:00-14:30

#### 「エピジェネティクス制御化合物の創製研究」

京都府立医科大学 鈴木孝禎 教授

14:30-16:00

#### 「拡張アンサンブルシミュレーションによる 創薬設計にむけて」

名古屋大学 岡本祐幸 教授

#### 講師の略歴



#### 鈴木孝禎 京都府立医科大学大学院医学研究科 教授

1995年東京大学薬学部薬学科卒業後、同大学院薬学系研究科に進学、1997年修了。同年(株)日本たばこ産業入社。2003年に名古屋市立大学大学院薬学系研究科助手となる。2005年 博士(薬学)取得、2007年同助教、2009年講師を経て、2011年より現職。その間2007年米国スクリプス研究所客員研究員、2009年科学技術振興機構さきがけ研究者などを兼任。主な受賞として2009年薬学会奨励賞、メディシナルケミストリーシンポジウム優秀賞、2011年 文部大臣表彰若手科学者賞などがある。専門は創薬化学、生物有機化学。



#### 岡本祐幸 名古屋大学大学院理学研究科 教授

1979年ブラウン大学理学部物理学科卒業。1984年コーネル大学大学院大学院理学研究科 物理学専攻博士課程修了(Ph. D)。同年バージニア工科大学理学部物理学科博士研究員となる。1986年奈良女子大学理学部物理学科助手、1993年同助教を経て、1995年岡崎国立共同研究機構(現自然科学研究機構)分子科学研究所助教授となる。2005年より現職。2007年より名古屋大学大学院理学研究科附属構造生物学研究センター教授(併任)。2010年米国物理学会フェロー表彰。専門は生物分子科学、生物物理学。



問い合わせ：伊丹 健一郎 E-MAIL: itami.kenichiro@a.mbox.nagoya-u.ac.jp  
プラットフォーム: グリーン物質変換